

様式第 3 号（第 1 1 条関係）

会 議 録

会議の名称	第 2 回白岡市総合振興計画審議会
開 催 日	令和 3 年 4 月 1 2 日（月）
開催時間	午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 3 0 分まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4 階 特別大会議室
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	中村豊、神田潔、板垣時夫、江口佐知子、野口晃、増田政史、弓木裕一、 矢島静江、吉村吉美、浅井直樹、三宅敏郎、荒井豊治、進藤貴一、藤森雅彦、 松下啓一 1 5 人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	なし 0 人
説明員の職・氏名	総合政策部長 相川哲樹 企画政策課 参事兼課長 白田進、課長補佐 伊藤真州、 主幹 安野隆三、主任 野本有慈
事務局職員の職・ 氏名	総合政策部長 相川哲樹 企画政策課 参事兼課長 白田進、課長補佐 伊藤真州、 主幹 安野隆三、主任 野本有慈
その他会議出席者 の職・氏名	市長 藤井栄一郎 副市長 野口仁史 有限責任監査法人トーマツ 堀井敬太
傍聴者数	1 0 名
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 委員自己紹介及び市職員紹介 4 議 題 第 6 次白岡市総合振興計画基本構想（案）について 5 その他 6 閉 会
配布資料	第 2 回白岡市総合振興計画審議会次第 第 6 次白岡市総合振興計画基本構想（案）

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会 事務局の司会進行により開会する。
藤井市長	2 挨拶 藤井市長が挨拶する。
松下会長	松下会長が挨拶する。
	3 委員自己紹介及び市職員紹介 対面で初めての開催であったことから、委員が自己紹介をする。 事務局職員を紹介する。
松下会長	4 議題 第6次白岡市総合振興計画基本構想（案）について それでは、第6次白岡市総合振興計画基本構想（案）について、Ⅰの序論とⅡの基本構想に分かれていますので、まず、Ⅰの序論について事務局から説明をお願いします。
事務局	第6次白岡市総合振興計画基本構想（案）Ⅰ序論について説明する。
松下会長	ただいまの説明について、御質問等がございましたらお願いします。
K委員	昼夜間人口比率が低いという記述がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でリモートワーク等により自宅にいる方も増えています。このため、昼間の需要が変わってくるものと考えられます。
事務局	本市は、埼玉県内で昼夜間人口比率が特に低い状況です。基本計画の策定の際には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も考慮し、現状に即した検討を行います。

J 委員	まちづくりの基本課題として、地震についての記述があった方がよいものと考えます。
M 委員	農業の後継者不足について、効果的な対策があるとよいと考えます。
E 委員	第 3 次産業の従事者が増えている状況があることから、税収入が減少する可能性があります。生産性の高い企業に従事する方に住んでみたい、住み続けたいと思えるような環境を整備することで財政基盤の確立につながると考えます。
松下会長	税収入については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってどのようなになっていますか。
事務局	令和 3 年度の当初予算における市税は、前年度と比較し、約 4 億 5 千万円減少している状況です。
C 委員	生涯学習分野について、参加者や利用者が減少傾向との記述があります。利用している団体数は確かに減少していますが、若い世代は団体を作らずに活動している方も増えています。このため、利用者の減少だけに着目するのではなく、ニーズの変化を捉えていくことが重要だと考えます。
D 委員	白岡の特産品である梨について、生産は減少していますか。また、ふるさと納税の状況と返礼品としての梨の状況はどうですか。
事務局	本市の梨の生産量は、年々減少しています。近年、ふるさと納税は、数千万円の収入であり、梨は主力の返礼品となっています。
藤井市長	梨の生産については、生産量及び従事者の確保が重要であると考えていますので、これらに向けた取組を実施していきます。

F 委員	市内全体の児童数は減少傾向にありますが、一方で増加している地域もあるとの記述がありますが、市としては、この地域の差を是正する方向で考えていますか。
事務局	減少している地域は、市の費用で教職員の人件費を負担し、複式学級としないなど、実情に即した対応を進めているところです。
松下会長	人口は、平成 30 年から減少していますが理由を把握していますか。
事務局	減少の主な理由は、転出者数の増加によるものです。転出の主な理由としては、進学や就職による若年層によるものが多い状況ですが、平成 30 年及び平成 31 年の若年層の割合は、それ以前の年と比較し、高いという状況ではありませんでした。このため、減少は一時的である可能性もありますが、今後の動向を注視している状況です。
L 委員	大山地区の約 100 件あった梨農家は、約 20 件まで減少しており、梨選果センター運営が難しい状況です。これは、久喜市、蓮田市も同様の状況であり、南彩農業協同組合では、選果施設の統合を考えています。このままでは、白岡市の梨ということではなく、南彩農業協同組合地区の梨ということになると見込まれます。また、毎年、生産者が減少していますので、今後、梨の産地として維持していくことは難しい状況です。
G 委員	前回の第 5 次白岡市総合振興計画の計画策定の趣旨に記載のありました白岡駅及び新白岡駅を中心とした市街地の商業機能の充実については、今回の計画ではどのように整理していますか。
事務局	第 6 次白岡市総合振興計画は、現行計画と比較して、人口が増加基調であったものが、減少に転じているという違いがあります。このため、計画策定の趣旨ではその旨を記載しています。白岡駅及び新白岡駅の商業施設などの記載は、土地利用基本構想に位置付けています。

N委員	新白岡駅は、商業施設が少なく、人も少ないと感じています。一方、土地はあると考えられるため、有効利用を図るとよいと考えます。
E委員	植物工場を運営する企業を誘致するなどして、農業でも生産性を高める手段を検討すべきではないかと考えます。また、産業について、既存企業の拡張や新たな研究施設を誘致するなどの取組が必要であると考えます。
松下会長	それでは、続いて、第6次白岡市総合振興計画基本構想（案）Ⅱの基本構想について事務局から説明をお願いします。
事務局	第6次白岡市総合振興計画基本構想（案）Ⅱ基本構想について説明する。
松下会長	目標人口は、国などから示されているものとどの程度異なりますか。また、計画期間内の財政状況の見込みはどうですか。そのほか、7つの政策目標について、現行計画との違いは何ですか。
事務局	国立社会保障・人口問題研究所の推計は、平成27年の国勢調査が算定基礎ですが、今回実施した目標人口の推計は、直近の住民基本台帳を算定基礎としていますことから、数百人程度の違いがあります。財政状況の推計は、様々な前提条件がありますが、市が予定している大規模事業を全て実施した場合で推計すると、将来的には単年度収支が赤字に転じる結果となっています。政策目標は、現行計画を基礎として、それぞれに紐づく事業を考慮し、必要な見直しを実施しています。見直しの内容は、福祉関係の分野から子育てに関する内容を教育関係の分野に変更し、安心安全に関する分野と環境に関する分野を統合しています。
J委員	現行計画の中で上手く進まなかったものはありますか。また、土地

事務局	利用基本構想図で商業ゾーンを変更した理由は何ですか。 全体の事業として、上手く進まなかったものを含めて第5次白岡市総合振興計画後期基本計画の検証結果報告書にまとめています。この中で子育て支援の充実、環境問題に取り組む人づくりの推進、観光の振興が達成度Cとなっておりまして、目標に達していないものです。県道さいたま栗橋線沿いの市街化区域内の商業ゾーンは、準住居地域という区域で商業施設の立地が可能であることから、記載をしなかったところですが。白岡駅は市街地の拠点として、新白岡駅も店舗などの誘導を図るものとして、名称を変更しているものです。
I 委員	のりあい交通により、公共交通の充実を図ってはいますが、コミュニティバスなどがないことで住みにくいと感じてしまうという声も多いため、更なる充実について具体的な方法がありますか。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、GIGAスクール構想や自治体DXなどが重要だと考えます。
事務局	本市も以前は、循環バスの運行をしていましたが、利用者数が少なく廃止した経緯があります。近隣市では、以前に廃止した循環バスを改めて再開したところもあります。このため、近隣市の動向を注視しながら、のりあい交通を更に充実させる方法を検討しています。
H 委員	福祉行政では、現在の制度に合わない狭間のニーズについて民生委員に対して話があります。また、民生委員が見えないところでも問題は起きていると考えます。
事務局	福祉に係る複雑化・複合化する問題に対して、包括的な支援体制を検討していきたいと考えています。
B 委員	土地利用は、地権者優先で進んでいくものと考えます。このため、土地利用基本構想の中で土地は、市民全体の資産である旨を記載して

事務局	ほしいと考えます。建築関係の条例や地区計画などについて、事前に整備することも土地利用基本構想に記載してほしいと考えます。 土地利用基本構想の基本方針において、土地は市民生活や生産活動の基盤であり、広域的な視点を持ち利用を図ると記載していることから、市全体として土地利用を考えていく意味合いが含まれていると考えています。建築関係の条例や地区計画などについては、基本計画を作成していく中で検討していきます。
A委員	駅から歩いて10数分圏内でも交通上、危険な場所があり、不安に感じています。前回計画では記載のあった減災という文言がなくなっているが理由はありますか。空き家の問題、夜間照明の少なさ、老朽化したブロック塀、歩道の狭さなどから大切であると考えます。
事務局	減災は、取組を実施しないために記載しなかったものではありません。第6次総合振興計画では国土強靱化計画も一体的に定めるものとして進めており、基本計画で減災という文言も入れていきたいと考えています。
F委員	公共交通の充実を進めていただきたいと考えています。現行計画では、土地利用基本構想で公園レクリエーションゾーンがなくなった理由はどのようなものですか。
事務局	公園レクリエーションゾーンは、既に整備済みでありますので、記載をなくしたものです。
松下会長	各委員からは、様々な意見等が出されましたが、本日の会議で伝えられなかった意見がありましたら、事務局に送付いただきたいと思います。 それでは、これで本日の議題を終わりにします。 5 その他

事務局	・基本構想（案）に対する意見の提出について ・次回の開催日程について ・報酬及び費用弁償について
事務局	6 閉会 事務局により閉会する。